平成２３年１０月１１日

各　位

上場会社名　　北海道電力株式会社
代表者　　取締役社長　佐藤　佳孝
（コード番号　　９５０９）
問合せ先責任者　総務部企業行動室
株式グループリーダー　新居　琢実
（ＴＥＬ　　０１１－２５１－１１１１）

石狩湾新港発電所の建設計画について

当社は、本年３月３０日付「ＬＮＧ火力発電所の導入計画について」において、今後も堅調な増加が想定される電力需要に対応するとともに、燃料種の多様化を図り、将来的な電力の安定供給を確実なものとするため、平成３０年代前半を目途にＬＮＧ火力発電所を導入することについて公表いたしました。

当社は、前回公表以降、具体的な検討を進めてまいりましたが、電源の分散化が図られ、電力の大消費地に近く、港湾等のインフラが整備されているなどの観点から、石狩湾新港地域にＬＮＧ火力発電所（石狩湾新港発電所）を建設することといたしました。

今後、環境影響評価法および電気事業法に基づく環境アセスメント手続き等を進め、平成２７（２０１５）年度の着工、平成３０年代前半の初号機（５０万ｋW級）の運転開始を目指してまいります。

また、本日、北海道ガス株式会社（本社：札幌市、社長：大槻博）との間で、現在、北海道ガス株式会社が石狩湾新港地区において建設を進めているＬＮＧ輸入基地（以下、「石狩ＬＮＧ基地」）の共同利用に関する「基本合意書」を締結いたしました。

本合意書は、両社が石狩ＬＮＧ基地に関わる協力関係を構築することにより、北海道において、長期にわたり安定してエネルギーを供給していくことを目的としています。

主な内容は、石狩ＬＮＧ基地を現計画より拡張して石狩湾新港発電所用燃料設備を設置し、同基地にて、当社が調達するＬＮＧの受入れ、貯蔵および同発電所への燃料ガスの供給を行うというものです。

今後、両社において建設および運営に関する具体的な協議を継続してまいります。

石狩湾新港発電所の建設にあたりましては、地域の皆さまおよび関係各所のご理解をいただきながら計画を進めてまいります。

（添付資料）　石狩湾新港発電所建設計画の概要

以上

（ 添付資料 ）

石狩湾新港発電所建設計画の概要

１．発電所の名称　　石狩湾新港発電所

２．建 設 予 定 地　　石狩湾新港地域（西地区）

３．発　電　方　式　　コンバインドサイクル発電

４．発 電 所 出 力　　初号機：５０万ｋW級（総出力：１６０万ｋW程度）

５．燃 料 の 種 類　　天然ガス

６．燃料供給方法　　「石狩ＬＮＧ基地」よりパイプラインを通して供給
※北海道ガス株式会社が建設中の「石狩ＬＮＧ基地」内に発電所用燃料設備を設置。

７．主　要　工　程（予定）
（１）工 事 着 工　　平成２７（２０１５）年度
（２）運 転 開 始　　平成３０年代前半目途

○ 建設予定地：石狩湾新港（西地区）



（石狩湾新港）

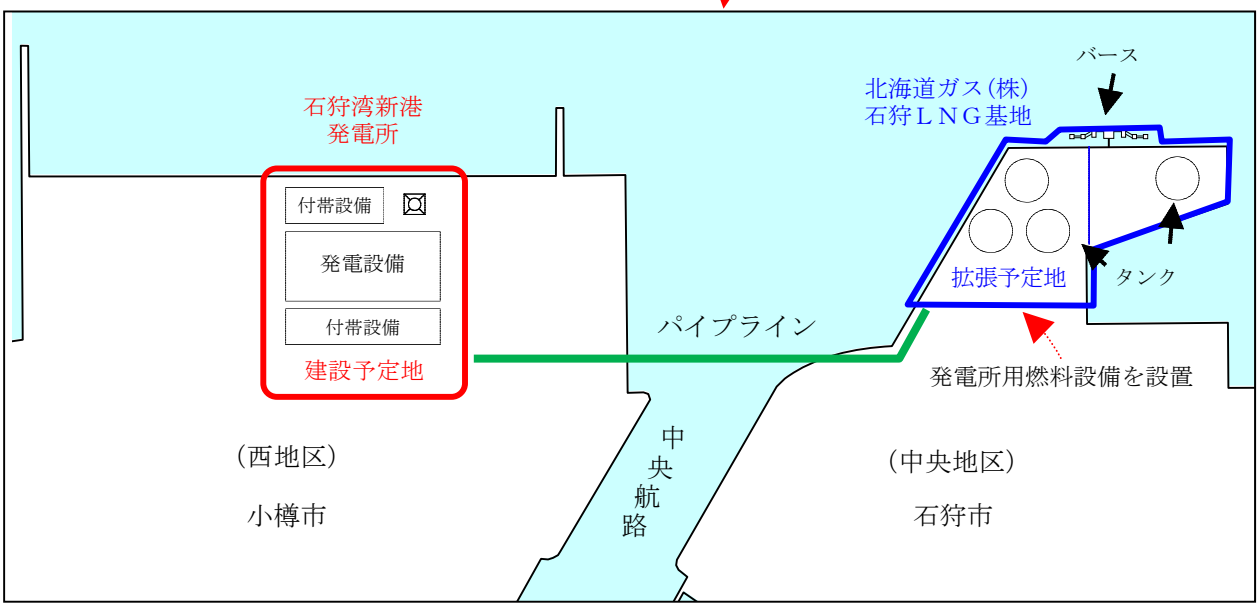

図　計画イメージ

以　上